

胎内市ファミリー・サポート・センター

地域において、子育て家庭の仕事と育児の両立を支援し、子育てしやすい環境をつくることを目的として、「子育ての応援を受けたい方(依頼会員)」と「子育てを応援ができる方(提供会員)」で行われている会員による子育て支援活動です。



どんなときに利用できるの？

- ・仕事などで保育園や認定こども園への送迎ができなくなったとき。
- ・急な家族の看護や冠婚葬祭で子どもの世話ができなくなったとき。
- ・学校等の放課後に子どもを預かってほしいとき。…この他にも依頼会員の必要に応じてサポート活動を行います。

会員になるには？

- ・依頼会員: おおむね生後3か月から小学校を卒業するまでのお子さんがいる方。
(ただし、特別な理由がある場合に限り、中学校卒業まで可能。)
- ・提供会員: 心身ともに健康で子育て支援活動に理解と熱意のある方、自宅等で子どもを預かることができる方、入会後に支援活動に必要な講習を受けていただける方。
※複数人で預かることもできます。

利用時間・報酬は？

利用時間	依頼会員の利用料金	提供会員の受け取り報酬額(※)
月～金 7:00～19:00	1時間あたり 400円	1時間あたり 1,000円
土・日・祝 7:00～19:00		
早朝 6:00～7:00	1時間あたり 500円	1時間あたり 1,100円
夜間 19:00～21:00		

(※)1時間あたり600円を市が助成します。依頼会員がひとり親世帯の場合、市が利用料を補助します。

申込み・お問い合わせ先 胎内市ファミリー・サポート・センター ☎080-2074-7766



子どもへの声かけ

0歳～ 行動の前には必ず声をかける

急いでいるときにも無言は禁物。「〇〇ちゃん、おむつ替えようね」など、名前を呼んで次にする行動を説明しましょう。

1～2歳 気持ちに共感する

「うれしいね」「悲しいね」など、子どもの思いを言葉にしていけることを繰り返す中で子どもは大人への信頼感を深め、また言葉を覚えていきます。

2～3歳 プラスの言葉で

「上ってダメ」ではなく「下りようね」と、肯定的な言葉をかけましょう。「ダメ」と言われ続けると、主体的な行動ができなくなってしまいます。



2～3歳 子どもに考えさせる

「こういうときはどうするんだっけ?」「どうすればいいと思う?」など、子どもに考えさせるような言葉も効果的です。

子育て通信 にこにこ

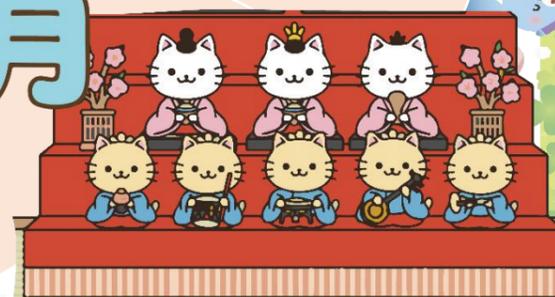
子育て通信「にこにこ」は、胎内市ホームページからもご覧いただけます QRコード



R8.2.20 221号



3月



発行 こども支援課 こども支援係 TEL43-6111(内線1262)

子育て支援センター こっこクラブ ついじ保育園

今月のこっこクラブでは、鬼のお面づくりを楽しんだり、豆まきを楽しんだりしました。帽子型のお面は、お家の方と一緒に色を選んだり、角や目を描いたりしながら完成!! ず〜っと被って過ごす姿も見られ、お気に入りとなった様子のお子さんもありました♪



ママの手を引いて、部屋の隅へ避難!



豆まき当日、遠くから太鼓の音が聞こえると、遊びの手を止め、みんな音のする方を振り向き、じーっと目を向ける姿! 鬼が登場すると、部屋の隅へ避難するお子さんや鬼のすぐ目の前で動きが固まってしまうお子さん、ママにしがみついたりお子さんなど様子はさまざま! 鬼たちも、ちょっぴり遠慮しながら動いてくれました!! 何より、お家の方がニコニコしていて、とっても楽しそうでした♪

ママにキュー!としがみつきました...



新聞豆を手にしたもの...固まってしまいました!